

近畿地方の概要

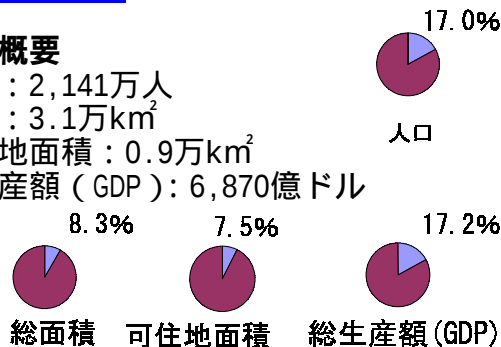
～ 地域個性の活用と広域連携による新しい価値観の創造 ～

1. 地域特性

○ 近畿の概要

- ・人口：2,141万人
- ・面積：3.1万km²
- ・可住地面積：0.9万km²
- ・総生産額（GDP）：6,870億ドル

近畿地方の対全国シェア



○ 近畿の厳しい自然

- ・南部は台風が集中
- ・北部は豪雪
- ・地震（阪神淡路大震災<H7.1.17>）

○ 歴史・文化資源の豊富な近畿

- ・国宝は全国の58%、重要文化財は全国の49%を占める
- ・世界遺産は4件で全国の44%を占める
- ・古くから都（飛鳥宮、難波宮、大津宮、藤原宮、平城京、長岡京、平安京、福原京）が置かれた

○ 西日本の中核としての機能が低下

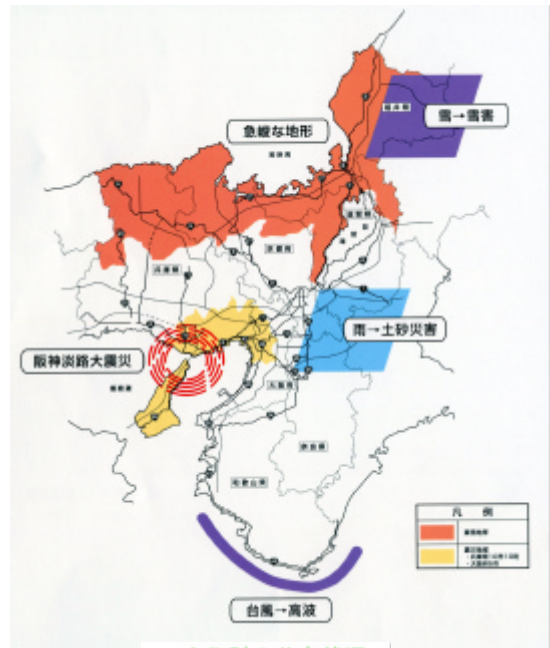
- ・西日本各地は東京へ指向
- ・東京一極集中、産業構造転換の遅れ

○ 個性ある地域

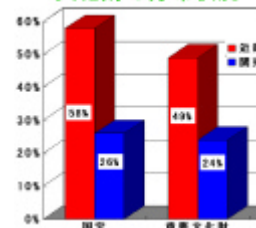
- ・都市と自然が近接
- ・京都、大阪、神戸の都市がそれぞれ個性を持って自立

○ 社会資本の現状

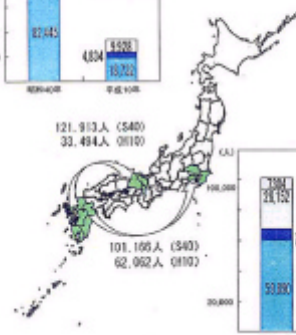
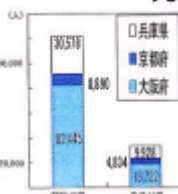
- ・放射環状道路のうち放射道路は約4割（関東は約9割）整備済
- ・想定氾濫区域内人口は1,517万人（近畿全体の約80%）



文化財の分布状況



九州からの転出者数



2. 近畿地方の目指すべき方向

1) 快適で高品質な生活空間の形成

- ・多種多様なライフスタイル生きがいを持つ人々が、快適に暮らせる近畿
- ・防災、危機管理の先進地域となっている近畿
- ・美しい自然と、歴史文化に親しめる近畿
- ・都市間・府県間、世界との交流・連携が活発な近畿

2) サクセスストーリーに満ち溢れた創造的風土の再生

- ・国内外から人・モノ・資本が集まり、新産業を生み出す近畿
- ・知的資源に基礎を置く産業構造が構築されている近畿

3) アジアの人々が集う国際交流活動の展開

- ・観光を中心とする国際的な集客でにぎわう近畿
- ・学術・文化・技術の蓄積を活用し、国際的な求心力を持つ近畿

4) 多様な主体が連携した地域づくりの展開

- ・市民、企業、行政によるパートナーシップモデルが構築されている近畿
- ・域内外との広域連携を通じて、西日本の中核を担う近畿

